

バドミントン ラリーポイント スコアリングシステムについて

プレーと指導の要点

ダブルス、シングルス共通

- ① サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝った側に必ず得点が入る。
- ② 全種目 21 点で 20 オール以降は 2 点差がつくまで。最大 30 点。
15 点ゲームの場合は 14 オール以降は 2 点差がつくまで。最大 21 点。
- ③ 自分の得点が 0 と偶数の時は右側から、奇数の時は左側からサービスを行う。
- ④ サービスをしてラリーに勝ったら同じ人が続けてサービス。ただし、左右を変える。

ダブルスのサービス順について

C	D
B	A

- ① 最初のサーバーを A、そのパートナーを B、最初のレシーバーを C、そのパートナーを D とするとサービスの順番は必ず

A → D → B → C の繰り返し。

- ② 自分の得点が 0 と偶数の時は右側コートから、奇数の時は左側コートからサービス。
- ③ サービスをしてラリーに勝ったら同じ人が続けてサービス。ただし、左右を変える。
- ④ レシーバーのポジションチェンジは無し。(直前のラリーの位置のまま)

プレーする上でのポイント

- ① 自分は誰の次にサーバーなのか。
- ② サービス時の得点は偶数か奇数か。①と②で自分の正しい位置が決まる。
- ③ パートナー同士の間ではサービスは交互に行われる。

審判上の要点(スコアシート記入の要点)

- ① 誰がファーストサーバーで、誰がファーストレシーバーかを記入する。
- ② サービスをどちらが選択したかを記入する。①と②で A D B C の順が決まる。
- ③ プレーヤーの特徴を記入する。
- ④ A D B C とか 1 2 3 4 を記入する。その順番でスコア用紙の名前の欄に得点が記入される。
- ⑤ サービスオーバーになったら次のサーバーの欄に得点を記入する。